

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	ブックスタート事業		
事業担当	社会教育部 中央図書館		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'02	②〈感性〉 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	'03	3 幅広い芸術・文化活動を普及・促進する	
根拠法令等			
対象・受益者	平塚市内在住の1歳未満の乳児・保護者	事業期間	
委託・協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: ブックスタートボランティア】		
	目的・目標		事業の概要
	豊かな子どもの心が育ち、親子の絆が養われています。		地域のすべての赤ちゃんと保護者に、「赤ちゃんとの絵本の楽しむ時間の大切さ」を伝えながら、絵本を直接手渡します。

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	ブックスタート実施回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	47	56	58		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績					
成果指標①	指標名	ブックスタートに参加した乳児の割合			単位	%
	説明・算定式	参加した乳児数÷乳児総数×100				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	49.5	51.2	50.4		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
市内図書館等で合計44回開催し、12月から3月には予約不要日を14日設け、合計919組の方の参加がありました。また、保健センターまつりに事業を紹介するポスター等を掲示してPRを行いました。参加者対象のアンケートでは、31%の保護者が今まで赤ちゃんに絵本を読んでいませんでしたが、75%の方が「赤ちゃんとの絵本の楽しみ方が分かった」と回答し、ほぼ全員が今後、家で赤ちゃんに読みたいと回答していることから、参加者にはたいへん効果があったと考えています。						
平成27年度の検証結果	B：おおむね成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	実施により「赤ちゃんと絵本を楽しむ時間の大切さ」を保護者に体験していただき、豊かな心を育てられること、また保護者も赤ちゃんと心を通わせる安らぎの時間を持つところから、必要性が高い事業です。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	常に新たな参加対象者がいる事業なので、性質上継続して実施することで、着実に参加者も増えています。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	1歳未満の乳児とその保護者を対象としています。この時期だからこそ乳児、保護者にとっても普及啓発を図る必要があります。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	ボランティアを募集し協働で実施しています。今後、参加機会の拡大を図るためにボランティアの活動内容や役割分担等の一層の連携を目指します。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 ボランティアが丁寧に事業の趣旨を伝えながら絵本を手渡しすることで参加者の高い満足度を維持するとともに、参加率向上のために、事業のPRと参加しにくい方のための実施機会の拡充を行う必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		ブックスタートの開催、赤ちゃん文庫の充実	ブックスタートの開催、赤ちゃん文庫の充実	ブックスタートの開催、赤ちゃん文庫の充実
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	2,584	2,533	2,423
事業費 (A)		2,584	2,533	2,423
執行率 (%)		98.78	97.09	96.50

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針 「7か月児相談」の実施により参加機会が増えますが、「7か月児相談」や図書館等でも参加できなかった方が参加しやすい機会を設けるため、開催場所や開催回数を見直しを行います。また、引き続きボランティアとの協働によるきめ細かい対応に努めます。
課長コメント 平成28年度から保健センターの「7か月児相談」で実施を開始することで実施回数を増やし、参加機会の拡充を図り、より多くの乳児に参加してもらえるよう事業のPRも行います。